

第 101 回薬事エキスパート研修会
明日の創薬へ向けて
—分子イメージング技術の活用と将来展望—

| | | |
|------------|---|--|
| 主 催 後 援 | 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 (旧 日本公定書協会) 日本製薬団体連合会 日本製薬工業協会 社団法人東京医薬品工業協会 大阪医薬品協会 日本 OTC 医薬品協会 日本ジェネリック製薬協会 | 米国研究製薬工業協会(PhRMA) 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan) 日本 CRO 協会 社団法人日本医薬品卸業連合会 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 |
|------------|---|--|

近年の分子イメージング技術の進歩は著しく、疾患診断技術のみならず、基礎から臨床までと創薬における活用が注目されています。医薬品開発に関わる有効性あるいは安全性を早期かつ効率的に評価することは、創薬の成否を決める鍵として必須の課題であり、分子イメージング技術の応用・活用により、医薬品開発の効率化・短縮化・成功確率の向上を図れる可能性が示唆されています。

今回、分子イメージング技術関連の専門家をお招きして、明日の創薬あるいは医薬品開発の効率化を目指した分子イメージングに関わる研究進歩と応用の実際と、国際戦略へ向けた分子イメージング技術の活用と将来展望について解説いただき、今後の我が国の創薬あるいは医薬品開発戦略の位置付け等に係る課題と対策に迫っていきたくと考えています。

本研修会の趣旨にご賛同いただき、多くの皆様方にご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

| 日 時 | 場 所 |
|------------------------------------|---|
| 平成 23 年 8 月 24 日(水) 13:00~17:00 | 日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は財団ホームページをご覧ください |

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記の**払込取扱票**にてお申し込み下さい。

法人会員：当財団から送付する規定の払込取扱票使用

法人会員以外：

ゆうちょ銀行、郵便局備えつけの払込取扱票使用

振込先：(財)レギュラトリーサイエンス財団

振替口座 00190-9-97409

*** 次の事項を払込取扱票の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。**平成 23 年 7 月 25 日 (月) より聴講券をお送り致します。郵便振替払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。

通信欄に必ずご記入下さい。

- (1) **会社名、所属**
- (2) **聴講者名**：1 枚につき 1 氏名
- (3) **連絡先**：郵便番号、住所、電話番号
- (4) 「101-分子」の文字
- (5) e-mail (研修会の案内をご希望の方のみ)

*** ゆうちょ銀行及び郵便局以外の銀行振込、現金送金はご遠慮願います。**なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 入金確認順に受け付けます。

平成 23 年 8 月 10 日 (水) 以降のお振り込みの場合は下記問合先にご連絡下さい。又は、財団ホームページ (<http://www.pmrj.jp>) をご覧ください。

2. **受講料**(消費税込)：要旨集代を含みます。

・ **法人会員** 1 名につき 10,000 円

(法人会員は 1 口につき 4 名が会員扱い)

・ **個人会員/非会員** 1 名につき 15,000 円

・ **行政/アカデミア/医療機関/学生**
1 名につき 3,000 円

なお、受講者の方は、わが国の医薬品リスクマネジメントに関連する薬事法や制度等を解説した初めての日英対訳本「日本における医薬品のリスクマネジメント」を特別価格 9,900 円でご購入頂けます。

ご希望の方は受講料に加算して振込用紙にてお振込下さい。研修会当日にお渡し致します。

3. 問合先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15

一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

電話 03-3400-5644 (薬事エキスパート研修担当)

4. 注意事項

○法人会員にお送りした規定の払込取扱票は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。

○当日、撮影及び録音はご遠慮願います。

○原則として電話、FAX、での受付及び当日受付は致しませんのでご了承下さい。

第 101 回 薬事エキスパート研修会
明日の創薬へ向けて
—分子イメージング技術の活用と将来展望—

平成 23 年 8 月 24 日 (水) 日本薬学会 長井記念ホール
(受付開始予定 12 : 00)

13:00~13:05 開会挨拶

寺尾 允男
(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)

13:05~13:55 医薬品開発 (または創薬) における分子イメージング技術の応用と将来展望

井上 登美夫
(横浜市立大学大学院医学研究科放射線医学教授)

13:55~14:55 分子イメージング創薬のレギュラトリーサイエンスと有効な活用法

矢野 恒夫
(独立行政法人理化学研究所分子イメージング科学
研究センターコーディネーター)

14:55~15:10 休 憩

15:10~16:00 新医薬品開発 (または新医薬品承認申請または創薬・育薬) における分子イメージング技術
活用の現状と進歩

久下 裕司
(北海道大学アイソトープ総合センター教授、
北海道大学大学院医学研究科放射線生物学分野教授)

16:00~17:00 総合討論

共同司会 : 野口 隆志 (昭和大学薬学部臨床薬学教室客員教授)
土井 脩 (医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団理事長)

(演題, 講師, 時間等一部変更する場合がありますので, 予めご了承下さい.)

一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 (略称 レギュラトリーサイエンス財団)

*一般財団法人日本公定書協会は、平成 23 年 6 月 17 日より名称変更致しました。

<http://www.pmrj.jp>